



令和元年 10 月 31 日
国土交通省国土地理院
北海道地方測量部

「世界津波の日」に合わせて津波災害の教訓を確認

～津波災害関連の「自然災害伝承碑」のご案内～

11 月 5 日は「世界津波の日」です。この日に向け本日、津波災害の記憶を後世に伝える貴重な資料として、津波災害関連の自然災害伝承碑を新たに北海道内で 2 基（全国で 27 基）公開しました。津波災害は地域によって数百年もしくは数千年に一度しか発生しないこともあり、自らの経験だけでは適切な防災行動を取ることが難しいと言えます。先人からの貴重なメッセージを防災活動等にご活用ください。

本年 9 月北海道札幌市において『「世界津波の日」2019 高校生サミット in 北海道』が開催されましたが、11 月 5 日は「世界津波の日」に制定されています。国土地理院では、「世界津波の日」に向け、道内については、本日新たにえりも町にある津波災害関連の自然災害伝承碑「震嘯罹災記念」2 基をウェブ地図「地理院地図」から公開しました。

道内の津波災害関連の自然災害伝承碑としては、えりも町の 2 基のほか、奥尻町 4 基、天塩町 1 基が地理院地図に掲載されています。

えりも町は昭和 8 年（1933）3 月 3 日に発生した昭和三陸地震の津波による被害を受けており、今回新たに掲載される碑はその被害状況と地震による津波の恐ろしさを伝えています。

先人が自然災害伝承碑として残した過去の教訓を防災情報等としてご活用ください。

今回の公開により、地理院地図における自然災害伝承碑の公開数は、道内では 5 町 16 基、全国では 43 都道府県 120 市区町村 372 基となります。

今後も、市区町村の協力のもとに、自然災害伝承碑の情報を定期的に更新し、公開していきます。



今回新たに公開する自然災害伝承碑
「震嘯罹災記念」（北海道えりも町）

【添付資料】

資料 北海道内の津波災害関連の「自然災害伝承碑」

※自然災害伝承碑の詳しい情報につきましては、以下のウェブサイトをご覧ください。

「自然災害伝承碑の取組」 <https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

北海道地方測量部 HPI「自然災害伝承碑の取組」

<https://www.gsi.go.jp/hokkaido/shizensaigai-denshouhi.htm>

（問い合わせ先）

〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 2 丁目 1 番 1 札幌第一合同庁舎 1 0 階

国土交通省国土地理院北海道地方測量部

測量課長 野口 真弓

TEL : 011 (709) 2311 (内) 4503

次 長 清水 乙彦

TEL : 011 (709) 2311 (内) 4501

北海道内の津波災害関連の「自然災害伝承碑」

追悼碑

災害名: 積丹半島沖地震
(神威岬沖地震)
(1940年8月2日)



詳細説明は画像をクリック

天塩町 1基

奥尻町 4基

時空翔

災害名: 北海道南西沖地震
(1993年7月12日)



詳細説明は画像をクリック



えりも町
2基

10/31
新規公開

震嘯罹災記念

災害名: 昭和三陸地震
(1933年3月3日)



詳細説明は画像をクリック

震嘯罹災記念

災害名: 昭和三陸地震
(1933年3月3日)



詳細説明は画像をクリック

伝承内容

昭和8年(1933)3月3日未明、三陸沖で発生した地震による津波が幌泉村(現えりも町)を襲い、えりも岬地区、庶野地区を中心に大きな被害が発生した。津波は3回来襲し、3回目の波高は14.2mにも達し、死者13名、負傷者56名、家・建物の倒壊90棟などの被害があった。

地理院地図HP

(えりも町の自然災害伝承碑を表示)

